

第4回地域フォーラム

宇陀市のまちづくり

～魅力的で活力ある高原都市に向けて、公民連携の推進～

令和4年11月5日（土）
宇陀市榛原総合センター

宇陀市長 金剛一智

宇陀市のまちづくり

～魅力的で活力ある高原都市に向けて、公民連携の推進～

本日の構成

1. 奈良県と宇陀市のまちづくりに関する連携協定
2. 現在進めている企業との連携
3. 企業との更なる連携強化
4. 公民連携によるまちづくりの推進

1

奈良県と宇陀市の
まちづくりに関する連携協定

1. 奈良県と宇陀市のまちづくりに関する連携

近鉄榛原駅周辺地区



榛原駅前に整備する交流施設



市民ワークショップによる
健康増進エリアの検討

奈良県東部の玄関口として、
賑わいと交流を生みだすまちづくり

室生寺門前および室生口大野駅周辺地区



室生寺門前の活性化



室生山上公園の利用促進

室生寺の魅力発信・室生寺門前の魅力向上と
室生口大野駅周辺における観光案内機能向上による
まちづくり

宇陀松山周辺地区



道の駅周辺の観光交流機能強化



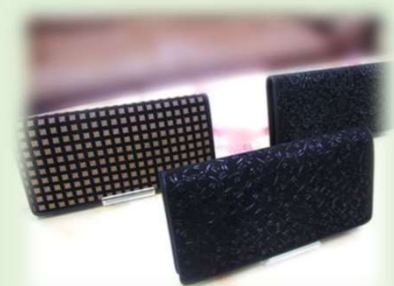
薬草を活かした産業振興

歴史と文化を活かし、暮らし続けられる生活環境と
次世代への活力を創り出すまちづくり

うたの古市場周辺地区



雇用の創出に繋がっているカエデの郷ひらら



盛んな毛皮革産業

誇りある地域資源を見つけ、
生活・観光・産業が三位一体になるまちづくり

《今後》 民間事業者等と対話・連携し、更なるまちづくりを進める

2

現在進めている企業との連携

2. 企業との連携① 有機農業産地づくり（オーガニックビレッジに向けて）

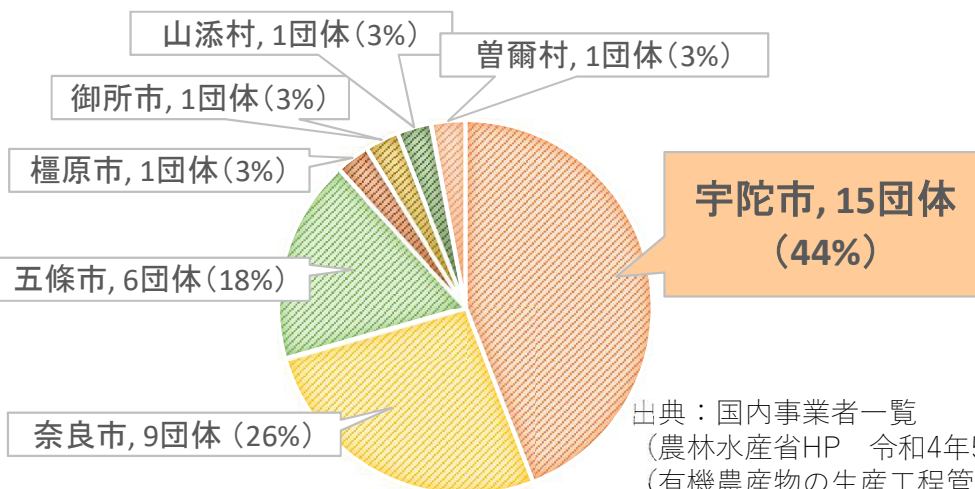
冷涼な気候等から、有機農業が盛ん。担い手は、10経営体が参加する**山口農園グループ**や企業が設立した農業法人の**類農園、はじまり屋、奈良みらいデザイン(株)**等があり、独自の販路確保や担い手育成等、多様な経営を展開。

農林水産省が進める**オーガニックビレッジ**※として、有機農業推進の先進地区の拠点創出を目指す。

※有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず地域ぐるみの取組を進める市町村。農林水産省は、2025年までに全国100の「オーガニックビレッジ」を創出を目指している。
奈良県では、宇陀市が唯一。



県内の有機農産物の経営体数



(円/樹脂袋20kg)

高度化成肥料価格の推移



2. 企業との連携① 有機農業産地づくり（オーガニックビレッジに向けて）

伊那佐東部地区において**特定農業振興ゾーン**（51.5ha）を設定して、農業の効率化や農地整備等を行い、**高収益作物の生産拡大**や**品質・生産性の向上**を図り、大和高原宇陀ブランドとして農業振興を目指す。



宇陀市伊那佐東部地区の特定農業振興ゾーンに関する協定締結式（令和3年2月5日）



栽培が盛んな軟弱有機野菜



2. 企業との連携① 有機農業産地づくり（オーガニックビレッジに向けて）

【目標】

特定農業振興ゾーンを核とし、生産から食卓までの関係者をネットワーク化したクラスターを形成し、**宇陀市で有機農業の一大拠点（オーガニックビレッジ）を創出する。**

試行的な取組み

- 新技術(長期鮮度保持可能な冷蔵庫)による安定的・効率化な出荷体制の試行
- 規格外品のこども食堂や企業社員食堂での利用促進のための物流試行
- 規格外品の常温保存可能なペーストの活用
- 大都市での消費PRイベント、フードフェスへの出店 等



長期鮮度保持可能な電場冷蔵庫



規格外品を利用した無添加無着色のペースト



フードストアソリューションズフェア2022に出展

2. 企業との連携② 薬草を活かしたまちづくり

- 宇陀は**日本最初の薬狩の地**であり、何人もの**製薬会社の創設者**を輩出した薬草のまち。現在、**大和当帰**の6次産業化に取り組んでいる。
- 薬草園の見学、薬草料理、大和当帰の植え付け体験、葛堀り体験等がツアーになった**薬草ツーリズム**が人気。また、民間主体で、薬草の専門家が一同に会する講演会・ワークショップ等も開催。



薬草のまちの豊かな自然を体験できる宿



大和当帰の植え付け体験

2. 企業との連携③ 地場産物を食材とした学校給食

- 学校給食では、**宇陀産野菜**などの食材を積極的に利用し、**地元食材利用率約33%**。
- 現在整備を進めている給食センターでは、**地元食材等の大量調理にも対応可能な保管庫**や、**地場産物を利用した献立開発などを行うメニュー開発室**を設置。
- また、**地域の食文化や伝統的な郷土料理など、食育の普及啓発をおこなう研修室**を設置。



宇陀産の野菜を使った献立



整備予定の給食センター

2. 企業との連携④ 起業家育成（Next Commons Lab奥大和）

- 平成25年、ロート製薬(株)がアグリファーム事業部を宇陀市で開設。
- 平成28年、ロート製薬(株)・奈良県・宇陀市の3者による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結。連携協定に基づき、**食と農を中心とした宇陀市内での起業プロジェクト**を立ち上げ、**全国から起業家を公募**、事業実現に向けて最長3年間サポート。
- 現在5名が地域の農産物等を活用した起業に向け準備中。既にサポート期間を終えた8名の起業家は市内で店舗等を開業。

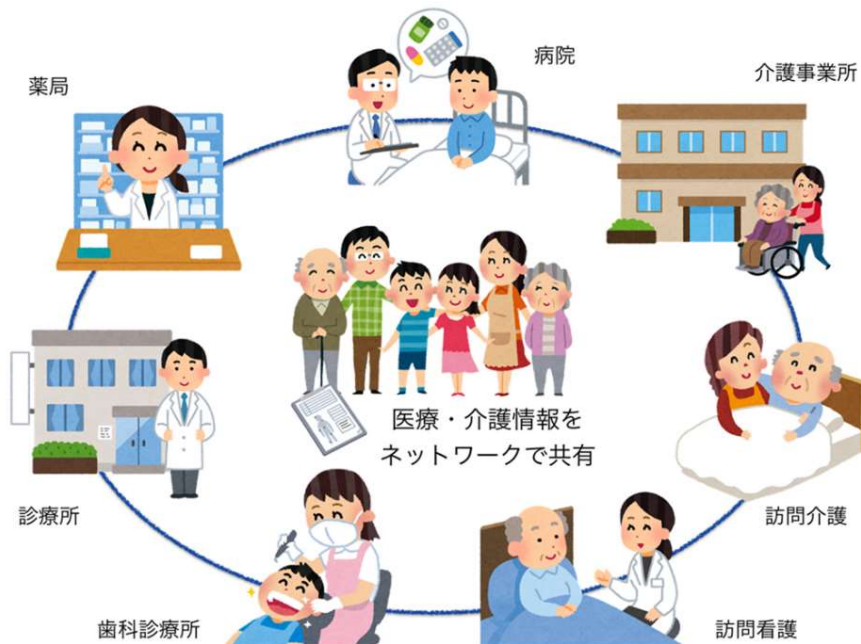


2. 企業との連携⑤ ICTによる地域医療・介護連携ネットワーク

市民の医療・介護情報等を病院、医科・歯科診療所、訪問看護、薬局、介護サービス事業所などにおいて、共有する仕組みとして「宇陀けあネット」を構築。

登録者数7,484人
病院・診療所・薬局29施設
訪問介護・介護施設57施設
(令和4年4月1日時点)

宇陀けあネット



ICTによる地域医療・介護連携ネットワーク

市内開業医の閉院が相次ぎ、特に大宇陀地域では開業医は1カ所となり、医療の空白地解消のため移動診療車を導入。今後、他地域で同様のケースが生じた場合にも対応。

Uda Mobile Clinic



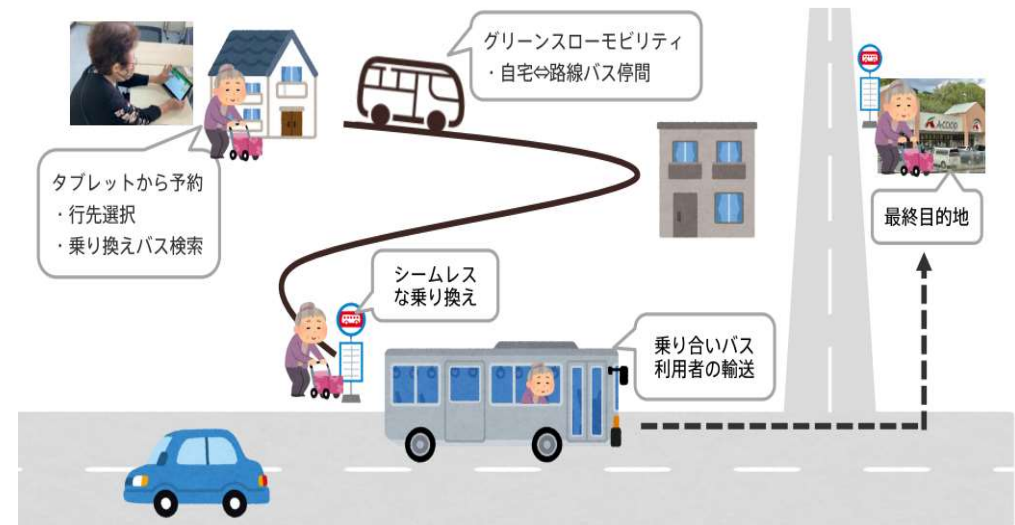
移動診療車

2. 企業との連携⑥ 地域交通への対応

- 公共交通空白地の大宇陀南部地域で、**地域の住民が主体的に運転手**となり、高齢者等の通院や買い物支援として、新たなバスの運行をスタート。本格運行にあたっては、**トヨタ自動車（株）**と連携して約1年間の実証運行を実施。
- 今年度、**内閣府「未来技術社会実装事業」、国土交通省「自動運転サービス導入支援事業」、奈良県「自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験を行う候補地」**に採択。新たな移動手段の導入に向けた検討を開始。



自宅まで送り迎え「市営有償バス（かぎろひバス）」



自動運転サービスの検討

対象予定地区：榛原天満台地区

- ・最寄駅から徒歩30分
- ・高齢化率40%を越えるオールドニュータウン
- ・路線バスが走る主要道路から南北に団地が広がる
- ・団地内に高低差があり、徒歩移動が難しい

2. 企業との連携⑦ 公園活用（Park-PFI）

- 市内には個性ある公園が多数存在。
- **平成榛原子供のもり公園**では、**民間のノウハウと資金を活用するPark-PFI事業を実施予定。**
- 豊かな生活空間の提供、地域経済の活性化、行政負担の軽減を図る。



バーベキューやカヌーもできる 平成榛原子供のもり公園

3

企業との更なる連携強化

3. 企業との連携強化① 市内企業への積極支援

- 空き家・空き店舗を活用して起業したい人に対して支援を実施。平成28年度より今まで計57件の空き家・空き店舗を活用。今年10月に、企業・個人向けに空き家を活用した移住体験施設がオープン。
- 宇陀市への就職を希望する人と市内企業とが接点を持つ機会として、市内企業の合同説明会・面接会を開催。令和4年9月30日は、計43名が参加。



空き家対策・起業者支援による開業



市内企業の合同説明会・面接会

3. 企業との連携強化② 企業の技術やサービスの積極活用

- 企業との連携を更に進めるため、令和4年9月に株式会社官民連携事業研究所と「**公民連携促進に関するパートナーシップ協定**」を締結。
- 今後、宇陀市の課題解決等に寄与する企業の紹介や公民連携事業への助言に関すること等について連携する。



公民連携促進に関するパートナーシップ協定締結式
(令和4年9月28日)



ピジョン株式会社が進める「あかちゃんの防災」への賛同・連携協力

3. 企業との連携強化③ サテライトオフィスの整備

- 市内への**企業進出**や**市民の働きやすさの向上**等を目指し、大和信用金庫旧榛原支店を活用したサテライトオフィスを令和5年度に開設予定。
- サテライトオフィスを**地域経済の活性化の拠点**として、新事業の探索・創出、地域課題の解決等に繋げていく。



サテライトオフィスの外観イメージ



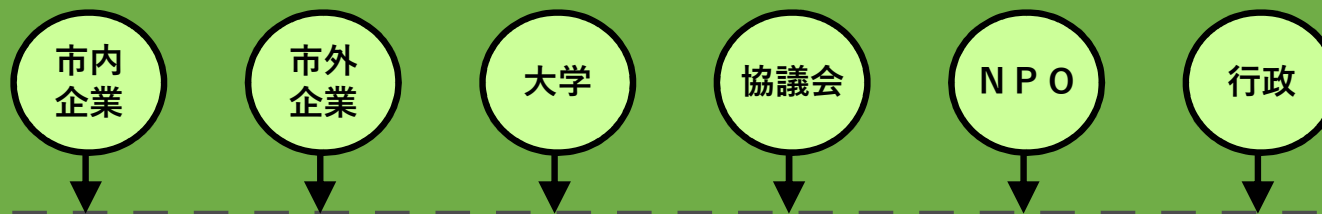
サテライトオフィスの内部イメージ

4

公民連携によるまちづくりの推進

4. 公民連携によるまちづくりの推進

民間事業者等による新事業の創出を促す繋がり場の場
 「**公民連携まちづくりプラットフォーム**」の設置



公民連携まちづくりプラットフォーム

- ・フォーラムの開催
- ・メンバーの知見やアイデアを形にするための議論 等



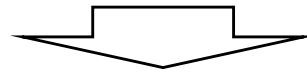
民間のアイデア・ノウハウを活用し、より良いまちづくり基本計画とし、実効性の高い計画とする。

新たな経済活動やサービスを創出を目指し、コンソーシアム（目的を同じくした企業等の集まり）を組成する。

4. 公民連携によるまちづくりの推進

【公民連携まちづくりプラットフォームで取り上げるテーマ】

- ・オーガニックビレッジの取組を起点とした農と食の活性化
- ・ウェルネスシティの推進
- ・新たな教育機会の創出
- ・地場産業の活性化・地域ブランディング



宇陀の地域資源を活かした新たな価値の創造

公民連携まちづくりプラットフォーム キックオフフォーラム

メインテーマ：オーガニックビレッジの取組を起点とした農と食の活性化

- ▶ 日時 令和4年 **11/27** (日) 14時～
- ▶ 会場 なら食と農の魅力創造国際大学校附属セミナーハウス
- ▶ 内容 講演（近畿農政局長、ヤマガタデザイン(株)代表取締役）
事業者プレゼン、パネルディスカッション



ご清聴ありがとうございました